

国語科学習指導案

第4学年 男11名 女11名 計22名

場所 教室 3校時

石巻市立山下小学校 教諭 菊池 宰子

- 1 単元名 「本の世界を広げよう」
白いぼうし（物語） あまんきみこ
本のさがし方
ポスターをかいて、作品をしょうかいしよう

2 単元について

(1) 教材について

中学年は、言語能力が最も向上する時期だといわれる。物語を読んでその世界にひたり、その中で、躍動する心の動きもまた、この頃がもっとも盛んになる。この単元は「本の世界を広げよう」という名のとおり、読書の幅を広げていこうとするものである。

「白いぼうし」は平易な言葉で分かりやすく語られる人物像や作品の持つ雰囲気を理解するのに、適した作品である。また、ファンタジーの要素があり、香りや色合いの豊かな内容を持っているので、児童は想像力を働かせて、物語の世界を豊かに楽しむことができると思われる。また、「ちょう」と「女の子」の関係を考えたり、「たけの君」と「女の子」の関係を考えたりと、なぜ解きの要素ももつ作品である。「なぜ?」「次はどうなるのだろうか?」と考えながら読む楽しみも与えてくれる。また、この物語をきっかけにして、さまざまな物語も持っている素敵な本の世界にひたり込み、豊かな心の経験を持つ児童も生まれることを期待したい。それは、児童の心の教育にこれから何らかの形でできっと役に立っていくと思われる。

本単元は、まず物語を読む、続いて発展的に他の物語を探して読む、さらに自分の読んだ物語や本を他の人にポスターで紹介する、という3つの教材から成っている。本や物語のポスター紹介が学習のまとめとなっているが、この活動を実り多いものにするためには、「白いぼうし」の読みが、細かい解釈や理屈に縛られないようにすることが大切であると思われる。そうすることで、児童の読む楽しみが色あせないように気をつけたい。また、この単元では並行読書を進めていき、同じ観点でいくつかの物語を比べ読みしていくことで、児童の興味・関心を引き、読書意欲の継続にもつながっていくことと思われる。読書意欲を読書行動に結び付けていくために、単元の終末部に図書館利用についても触れる。また、図書館や図書室での本探しで面白いと思う本に出会えることが重要になる。一般的な図書館の活用法だけでなく、図書館のさまざまな機能にまで理解を深めさせたい。そして、本や物語のポスター紹介が楽しい時間となるよう、物語を読む時間と本を探す時間を充実したものとしたい。

(2) 児童について

当学級の子ども達は、素直な児童が多く、全体的に意欲的な雰囲気でも何事にも最後まで取り組めるよい面を持っている。22名という少ない学級なので、男女が協力して物事を成し遂げたり、学級全体でボール遊びやゲーム遊びをしたり楽しく活動することができる。反面、男子の中には自己中心的な行動を繰り返してしまう児童や、教師の指示を待ってから動こうとする女子児童も

多い。

国語の授業に関しては、4年生になって当学級を担当してから、いくつかの単元を指導してきたが、特に物語文を好む傾向にある。場面の様子や登場人物の気持ちを想像し、地の文と会話文を区別したり、音読記号を使って場面の雰囲気を意識した読み方を指導してきた。また、今学習している教科書の単元を中心とした本読みを毎日の家庭学習として家でも音読の練習をするようにしている。また、単元ごとにめあてを与えて本読み検定を行うことで、家庭学習の本読みがマンネリ化するのを防ぐように工夫している。一人一人のカードには、担任がその日の学習の様子を朱書きして返却していることもあり、保護者からの反応も良く、ほぼ全員が毎日提出している状況にある。また、詩の学習で内容の読み取りをしたときも、イメージが広がる想像力豊かな発言がたくさんあった。

反面、説明文において段落を意識しながら明確に読み取ったり、作文において自分の言葉で文を綴る力がまだまだ乏しい。感想をもっている、表現することに抵抗を示す児童が多く見られる。また、読書に関しては、1年生のときから毎週金曜日の業前活動の読書タイムで20分間の読書の時間を保証されている。読んでいる本は、絵本から小説までかなりばらつきがあるが、読書タイムは子ども達も好きな時間であり、それぞれが自分の選んだ本を静かに読んでいる。また、月4回の読書タイムのうちの1回は、図書館ボランティアのお母さん方による読み聞かせが行われている。子ども達は読み聞かせを大変楽しみにしており、一度に約3冊ぐらいの本を読んでいたが、終わるまで集中して聞くこともでき、読んでいただいた後にはたくさんの拍手がわきおこる。

(3) 指導について

「白いぼうし」が「車のいろは空のいろ」シリーズの中の一つであることから、「白いぼうし」の次に読む作品は「車のいろは空のいろ」シリーズから作品を選び、同じ観点で読み取り整理していくことで、比べ読みを展開していく。このことがシリーズ作品を読むことの面白さを感じることに繋がっていくように配慮したい。さらにファンタジーの要素を持つ物語にもさまざまな世界があることを知らせ、「車のいろは空のいろ」シリーズの作品以外にも興味を持つことができるように、比べ読みとしてもう一つ紹介したいと考えている。当学級には理解力の高い児童が比較的多いことから、これまで教科書に取り上げられたり、長年親しまれている高学年向けの物語作品を与えたい。そこで、宮沢賢治の「注文の多い料理店」との比べ読みを行う。「白いぼうし」をはじめ「車のいろは空のいろ」に出てくる共通の主人公(松井さん)の人物像や作品の持つ雰囲気をより鮮明にとらえさせるために、対照的な性格の登場人物や対照的な作品の雰囲気を比べ読みし、話し合うことで、それぞれの人物像や作品の雰囲気がよりはっきりと浮かび上がってくることを期待したい。ただし、比べる項目として「人物像」と「作品の持つ雰囲気」から外れないように、観点を絞って比べ読みを進めていきたい。児童は作品を比べて読むことは初めての体験なので、どんな小さな発見も尊重し、両者の共通点である「人と動物がかかわる物語」「ふしぎな物語」という共通点から気づかせ、そのあとで、相違点をつかめるように段階的に話し合いを進めていくことが重要になってくるように思われる。また、話す・聞く能力を引き出すために、友達の感想に対する自分の感想を話したり、書いたりする機会を十分に与えていきたい。また、そのような作業を繰り返すことで、それぞれの作品の雰囲気や人物を絞り込んでいくことに繋がっていくように授業を展開していきたい。

3 目標

(1) 単元の目標

- ・情景を想像しながら読み、シリーズのほかの作品にも興味を持つ。
- ・図書室(館)を利用して、シリーズになっている作品を中心に、読みたい本を探して読む。
- ・友達が読みたくなるように、作品紹介のポスターを工夫して作る。

(2) 具体的目標(評価規準)

関心・意欲・態度

ア 楽しんで物語を読み、進んでいろいろな本を見つけ、読書する生活をしようとしている。

話す・聞く能力

ア 紹介する作品の内容を相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話している。

イ 互いの考えの相違点や共通点を考えながら聞き、進んで話し合おうとしている。

書く能力

ア 叙述をもとに情景や様子を想像しながら、自分の考えをまとめている。

イ 相手や目的に応じて事柄を集め、考えが明確になるように気をつけて文章を書いている。

読む能力

ア いろいろな読み物に興味をもち、本を選んで読んでいる。

イ 叙述をもとに情景や様子を想像しながら読んでいる。

言語に関する知識

ア たとえの表現に気をつけて情景を生き生きと想像している。

4 学習計画（16時間扱い、本時16分の1）

区分	時数	主な学習活動と指導上の留意点	評価計画		
			観点	規準	方法
第一次	5 本時 1 / 5	<p>【白いぼうし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「白いぼうし」を読んで、作品の雰囲気や登場人物について感想を持つ。（本時） ・「車のいろは空のいろ」シリーズから作品を選んで比べ読みをする。＜比べ読みによる並行読書＞ ・作品の雰囲気や登場人物について感想を持ち、「白いぼうし」との共通点・相違点をつかむ。 2つの比べ読みの中で、シリーズ作品を読むことの面白さを感じることができるようにする。 「車のいろは空のいろ」シリーズの本の見返しに、松井さんの町の地図が載っているので、それを見ながら事件や出来事が起きた地点に印を付けてながら楽しく読めるようにする。 一つの作品を読んでみるのがシリーズものを読んだり、他の作品を読む意欲につながるようにする。 ・ファンタジー作品「注文の多い料理店」を読んで、作品の雰囲気や登場人物について感想を持つ。 ＜比べ読みによる並行読書＞ ・「白いぼうし」と「注文の多い料理店」の二つの作品の雰囲気と登場人物を対比し、二つの作品の共通点や相違点を考える。 ただし、作品の雰囲気や登場人物の人柄以外の観点においても子ども達から出てきたときには、取り上げるようにする。（予想される観点としては、季節・時間・場所・挿し絵・作品の風景・登場人物の数） ・これまで読んできた「白いぼうし」「車のいろは空のいろ」シリーズ、「注文の多い料理店」の共通点を整理して考え、ファンタジックな世界への興味を持つ。 読書生活をより広げる機会となるようにする。 	読む	イ	学習カード 観察
			話す聞く	イ	観察
			読む	イ	学習カード 観察
			話す聞く	イ	観察
			書く 言語	ア ア	ノート 観察
第二次	3	<p>【本のさがし方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまんきみこさんの他の作品や、教科書で紹介されているシリーズ物の作品、ファンタジー作品を探して読む。 	関意態 読む	ア ア	読書カード 観察
第三次	8	<p>【ポスターをかいて作品を紹介しよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターのどんなところを工夫したいか話し合う。（1） ・紹介する作品を決め、ポスターを作成する。（4） ・読書発表会をする。（3） 	話す聞く 書く 話す聞く	イ イ ア	観察 ポスター 観察

5 本時の指導

(1) 小単元名

「白いぼうし」 あまんきみこ作

(2) ねらい

- 教科書の文章や文を根拠として場面の情景をとらえ、物語の雰囲気や人物像に迫る。

(3) 準備物

児童・教科書、ノート、学習(感想)カード、筆記用具、下敷き

教師・本時のめあてカード、挿し絵の拡大コピー、カード、シリーズの別の作品 評価カードなど

(4) 学習過程(別紙)

(5) 評価

- どんな感じの物語なのか、また、主人公の人物像に迫ろうとしている。
- 一人一人の感じ方に違いがあることに気付こうとしている。

(6) 板書予定

<p>「この物語はこんな感じ」</p> <p>ふしぎな感じ やさしい感じ おもしろい感じ にぎやかな感じ しずかな感じ においを感じる きれいな色を感じる</p> <p>「主人公はこんな人」</p> <p>やさしい人 まじめな人 想像力が豊かな人 感じがいい人 行動力がある人</p> <p>理由など</p>	<p>めあて</p> <p>白いぼうし</p> <p>あまんきみこ 作</p>	<p>松井さんの絵</p> <p>町の地図</p>
--	---	---------------------------

(7) 座席表(別紙)

6 本単元の観点別評価一覧表(別紙)

7 資料 ワークシート(別紙)

(4) 学習過程

段階	学習活動と主な反応	教師の支援	評価 準備物
導入 5分	<p>1 松井さんの顔の絵と町の地図を見る。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div data-bbox="245 725 778 846" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「この物語はこんな感じ」「松井さんの人がら」について話し合おう。</p> </div>	<p>・「車のいろは空のいろ」に載っている松井さんの顔の絵と町の地図を児童に見せ、「白いぼうし」が「車のいろは空のいろ」シリーズの中の物語のひとつであり、地図の中で松井さんを主人公として、いろいろな出来事が起こることを伝えてから、読む。</p> <p>・本時は場面の情景を想像しながら読み、一人一人の感じ方に違いがあることに気づく時間であることを話し、意欲をもてるようにする。</p>	<p>・松井さんやシリーズの物語に興味を持つことができたか。(挙手)</p> <p>松井さんの顔の絵と町の地図</p> <p>・本時のめあてが分かったか。(観察)</p> <p>掲示用のめあてカード</p>
展開 35分	<p>3 「白いぼうし」の範読を聴く。</p> <p>4 作品の雰囲気や主人公の人柄について話し合う。</p> <div data-bbox="245 1352 778 1456" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問『この物語から受ける感じを発表しよう』</p> </div> <p>主な反応 (・ふしぎな・やさしい・おもしろい・にぎやかな・においを感じる・色が出てくる・次がどうなるのかときどきするなど)</p> <div data-bbox="245 1653 778 1756" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問『松井さんの人柄について発表しよう』</p> </div> <p>主な反応 (・心のやさしい人・気がきく人・想像力が豊かな人・まじめな人・行動力がある人・明るい人・感じのいい人・親切な人・思いやりがある人・センスがいい人など)</p>	<p>・教師の読みを聞いて、作品の雰囲気や人物像について感想を書くことを話す。また、感想を受けての話合いの時間をなるべく多く確保するために、感想カードの形式を工夫する。</p> <p>・短い言葉で全員に発表させる。そのあと、理由については挙手した児童から指名してその根拠となった本文の箇所や場面を挙げさせる。</p> <p>・松井さんの人物像については、そのせりふや行動に注目するように指示する。</p>	<p>・作品の雰囲気や、人物像について感想を書くことができたか。(感想カード)</p> <p>感想カード</p> <p>・作品の雰囲気や主人公の人柄についての話合いに参加できたか。</p> <p>・理由をもちながら、作品の感想を得ることをできたか。(発表、挙手、感想カード)</p>

	<p>5 話し合いから新たに分かったことや感想を発表する。</p> <p>発問例 話し合っ中で新たに分かったことや気がついたことはないだろうか。友達の感想に対する感想を発表しよう。</p> <p>あの女の子は本当は誰なのだろうか。</p>	<p>・人の感想に感想を加えたり、新たな発見をするには、注意深く何度も本文を読むことが必要なことを示唆する。</p>	<p>・新たな発見をしようと努力しているか。(挙手、発表)</p>
<p>終末 5分</p>	<p>6 本時のまとめをし、次時の予告を聞く。</p>	<p>・次の時間には「車のいろは空のいろ」を、その次の時間には教科書にはない物語で、「人と動物がかかわる物語」を紹介することを話す。また、それらの物語について、作品の雰囲気や主人公の人柄を中心に、共通点や相違点について話し合い、比べ読みをしていくことを伝える。</p> <p>ただし、期待を持たせるために題名はまだ伏せておく。</p>	<p>・次時の活動に意欲を持てたか。(観察)</p>

(7) 座席表 省略

6 本単元の観点別評価一覧表

単元名 「本の世界を広げよう」	観点別評価										総合評価				
	項目	関意態	話す聞く		書く		読む		言語		関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語に関する知識理解・技能
		楽しんで物語を読み進んでいるいろいろな本を見つけて読書をする生活をしようとしている。	紹介する作品の内容を相手や目的に応じた適切な言葉を使い話している。	互いの考えの相違点や共通点を考えながら聞き進んで話し合おうとしている。	叙述をもとに情景や様子を想像しながら自分の考えをまとめている。	相手や目的に応じて事柄を集め考えが明確になるように気を付けて文章を書いている。	いる いる な読 み物 に興 味を 持ち 本を 選ん でい る。	叙述をもとに情景や様子を想像しながら読む。	たとえの表現に気を付けて情景を生きた想像している。	新出漢字の読み書き					
氏名	方法	読書カード	観察	観察	ノート	ポスタ	観察	館ノ	観察	テ					
3															
4															
6															
7															
1															
1															
1															
1															
2															
2															
2															

学習カード「白いぼうし」

四の二 氏名)

第一問「この物語から受ける感じ（雰囲気やイメージ）をかき
ましょう。」

--

そのように感じた文章をぬき出しましょう。

わけ

第2問「松井さんはどんな人物でしょう」

（特に感じたところを で
囲みましょう。）

そのように思ったわけをかきましょう。

- 心のやさしい人
- 思いやりのある人
- 明るい人
- 想像力が豊かな人
- 気がきく人
- まじめな人
- 感じのいい人
- センスのいい人
- 行動力のある人

